

〜〜 笑顔で暮らせる 持続可能な地域づくり 〜

## 年頭にあたって

豊松協働支援センター長 赤木隆富

新年あけましておめでとうございます。

平素は協働支援センター事業に対しましてはご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本年は戌年に当たります。「犬も歩けば棒に当たる」ということわざがありますが、もともとの意味は「出しゃばると災難に会う」という意味だそうです。

しかし、考え方を考えてみると、じっとしては何も起こりません、何かをしていると思いがけない幸運に出会う、歩まなければ、災難にも当たりませんが幸運にも当たりません。このことが、町長のよくおっしゃる「挑戦」だろうと思います。失敗ばかり恐れてじっとしては何も起こりません。

協働支援センターも設立以来本年は3年目を迎えます。地区住民の代表の皆様により策定いただいた、むらづくり計画に基づき、地域の皆さんとご相談申し上げながら地域にとって必要とされる、住民主体の具体的な事業を推進して参りますので、積極的な参画をお願い申し上げます。

特には次の事業を重点的に挑戦してまいれる所存です。

- 1、豊松生活総合拠点（中学校跡地活用）整備事業
- 2、豊松地区出身者との交流促進によるふるさと応援団形成
- 3、子育て支援体制の整備による若者定住対策
- 4、豊松プラザ21の再構築

結びに犬歳ついて少し触れます。犬は社会性があり、忠実な動物です。そして人間社会の中であらゆる面で活躍してくれており、有難い動物でもあります。犬年の方は「勤勉で努力家」の方が多いそうです。昨年は酉年で「商売繁盛」や収穫や実りの年と言われました。

そうした意味では本年は収穫後の年となりますが、持ち味の勤勉で努力家でもございますので、それぞれ地道に努力をください幸運を手繰り寄せていただければと思います。また、犬はお産が軽いといわれ、安産については戌の日が吉日ともされています。新たに何かを生むスタートの年としてもよいのではないのでしょうか

終わりに、本年平成三〇年が皆様方にとりまして幸多い年でありますように、お祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。



## とよまつむら出身者の8%の方が帰郷を望んでいる

昨年、「とよまつむら出身者」334人（無作為抽出）にアンケートを取り137人の回答がありました。

地域の情報を定期的に欲しい方が40.9%、地区の行事（神社の祭り、フェスティバルなど）に参加したいという方が44.1%ありました。また、帰郷したいという方が8%ありました。

人口が減少していく当地区を「笑顔で暮らせる 持続可能な地域づくり」を行う施策として、まずは、「とよまつむら出身者」の方に郷里のことに興味を持っていただきたく、地域情報の発信・応援活動の提供と「とよまつむら」への企画・提案、改善アドバイスなどを得るために「とよまつむらふるさと応援団」（仮称）を創設しようと準備をしているところです。ご支援をお願いいたします。



「とよれくん」を応援しよう

## 豊松中学校跡地の有効活用

豊松中学校は油木中学校、神石中学校と統廃合し神石高原中学校となりました。2017年6月に豊松中学校校舎は更地になりました。校舎の存続、取り壊しには両論があつたのですが、再利用に対しては、校舎の構造上、壁・柱が頑丈にできており、改修に相当の費用負担が発生する。継続利用に対しては、耐震性能が現在の基準に該当しないということやむなく解体することになった経緯があります。

取り壊しに対し出身者の方から「外に出ている人間にとって母校がなくなるのは家族を失うのと同じぐらいの大きなものが失われる。」と無念の言葉もありました。

また、「中学校が廃校になって、とてもショックを受けた。ますます若者が少なくなっていくのが心配である。」という声がありました。昨年3月に策定した「豊松地区むらづくり計画」の中に具体化の検討をしています。

# 雨にも負けず 盛大に とよまつふれあいフェスティバル開催

2017年10月22日（日）はあいにくの雨模様で場所を多目的体育館に変更して開催しました。

メインイベントの荷車レースはナイスキャッチに変更して多くの方が楽しめました。

次回は快晴の中で開催をするぞ！



子ども太鼓により開会



子ども大相撲に熱い声援



トマト詰め放題・得・得



屋外で熱いのにじ汁を提供。ラッキー



トマト丸かじり選手権。頑張れ



パートナーとのナイスキャッチ

## 生涯学習の各教室を開催



昨年の11月25日（土）当センター調理室において「**そば作り体験教室**」を開催しました。前評判もあったことから9名の参加で男性が大半を占めていました。意外に力があること、また、経験が必要とのことで、次回も参加したいとの声がありました。そば粉はインターネットで「永沢寺そば道場」で検索してください。



昨年の12月2日（土）当センター研修室において「**陶芸教室**」を開催しました。事前に備前焼の先生がモデルを作っており、12名の参加者それぞれがアレンジして独特の干支の戌ができあがり、中には、今回で12干支が全部揃ったと喜ぶ方もおられました。年内に窯で焼いたので正月に間に合いました。



昨年の12月23日（土）当センター研修室において「**花アレンジ教室**」を開催しました。年の瀬で忙しい中、6名の方が参加されました。唯一男性1名の参加があり自己流で立派な作品が出来ました。と言っても先生のアドバイスがほとんどでした。今回は正月用の作品なので、良い年が迎えられたことでしょう。